

やまぐちっ子学力向上だより

第 8 6 号 H29.6.14
山口県教育庁義務教育課

ミドルリーダーレベルアップ研修を終えて

～全国学力・学習状況調査結果の分析から、日々の授業改善に向けた取組を進めましょう～

5月16日(火)に、県セミナーパークにおいて「ミドルリーダーレベルアップ研修」を開催しました。午前は2名の講師をお招きして、全国学力・学習状況踏査を踏まえた学力向上に関する指導講話をいただきました。午後からは、講話の内容を想定された学校の状況に応じて効果的に復伝する方法について、グループ協議・演習を行いました。

京都女子大学発達教育学部

教授 水戸部修治 氏

【講話内容】

- 新学習指導要領小学校国語における改訂のポイント
- 特徴のある全国学力・学習状況調査の問題と解答結果から見える全国的な課題
- 小学校国語科映像資料を用いた言語活動の充実を図った「読むこと」の授業づくり
- 解答類型等を活用し、授業改善に結び付けた事例 など

国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部

学力調査官兼教育課程調査官 小松信哉 氏

【講話内容】

- 授業改善の根底にあるものと日々の授業改善の在り方
- 特徴のある全国学力・学習状況調査の問題と解答結果から見える全国的な課題
- 解答類型の準正答である理由の考察
- 誤答分析の必要性
- 「問い返し」による子ども自らの学びの深まりと広がり など

講話の中で、子ども一人ひとりの課題を把握するためには、効果的に誤答分析を進める必要があることについて多くの場面で触れられました。解説資料を読み解き、解答類型の「正答」「準正答」「誤答」など、それぞれの思考のプロセスを考え、一人ひとりの学びに対する適切な学習支援を実践していきましょう。

また、課題解決の取組を進める上で「正答率が低い問題(※1)」「過去の問題で指摘された課題を踏まえた問題(※2)」「山口県として継続した課題と捉えている内容に関連した問題(※3)」などの視点を持ち、焦点化した分析を行うことが効果的です。



水戸部先生 講演の様子

- ※1 分析支援ツールで出力される個人票に記載された各設問別正答率を確認しましょう。
- ※2 解説資料の各設問の出題の趣旨に、過去の課題の見られた問題も合わせて記載されています。その内容を確認しましょう。

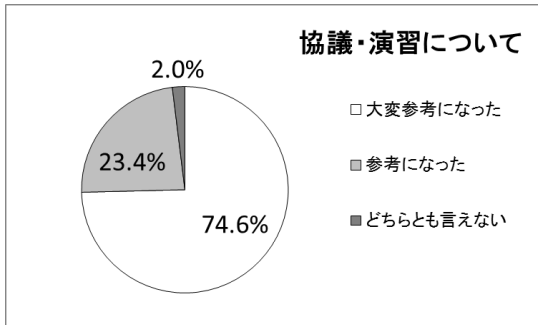
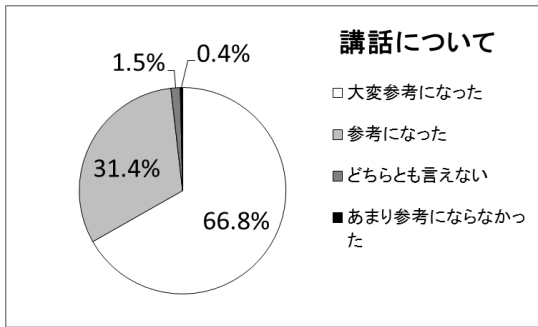
解説資料は以下の URL からダウンロードできます。

<http://www.nier.go.jp/17chousa/17chousa.htm>



- ※3 平成28年度にお届けした学力向上支援資料を確認しましょう。各教科の継続した課題について、具体的な内容や解決への取組が紹介されています。

参加者アンケート集計結果



講話から…

全国調査の正答率や結果に一喜一憂するのではなく、それを今後の授業にどう生かしていくかという取組を実践することの必要性や、全国調査だけでなく、次期学習指導要領の趣旨をしっかりと理解し、それを授業に具現化していかなければならないなど、教師一人ひとりに求められるものを改めて感じたとの感想がありました。

グループ協議・演習から…

「日頃から研修内容などの復伝や、教員への周知徹底の難しさを感じている中、復伝はもちろん、今後の研修の充実にも役立つ内容だった。この研修を生かし、復伝についての研修も学校に戻りやってみたい。課題が課題のままなのは、全職員に徹底できていないからであり、そこに光をあてた画期的な研修であった。」という声をいただきました。



グループ協議の様子

学校の状況に応じて情報を取捨選択したり、アレンジしたりして、効果的に復伝する方法について実習を行いました。



復伝の実演の様子

誤答分析のポイントは「類型化」

児童生徒の解答用紙には、一人ひとりの学びの定着状況が映し出されています。正答率だけに着目するのではなく、誤答分析を行い、児童生徒の思考のプロセスに着目してみましょう。どこにつまずきがあるかを分析することで、一人ひとりの学びを支援するための手立てが必ず見つかります。効果的な誤答分析を進めていく上で、児童生徒の解答を「正答」「準正答」「多くの児童生徒に見られる誤答」「特定の児童生徒に見られる誤答」の4つに類型化することがポイントです。

